

令和4年アユ産卵調査結果（調査終了）

滋賀県水産試験場

1. 調査概要

8月下旬から2週間ごとに県内11河川を対象に産卵調査を実施しています。第6次調査までの有効産卵数の合計は58.9億粒で、平年の75.1%となりました(表1、2)。

産卵親魚は豊富にいたものの、濁水により例年産卵数が最も多い姉川の産卵環境が悪くなったことで産卵数が平年よりもやや少なくなったと考えられます。

今後は、ヒウオ生息状況調査(10~12月)や魚群探知機を用いた魚群数調査(翌年1月~8月)等でアユの資源状況を評価していきます。

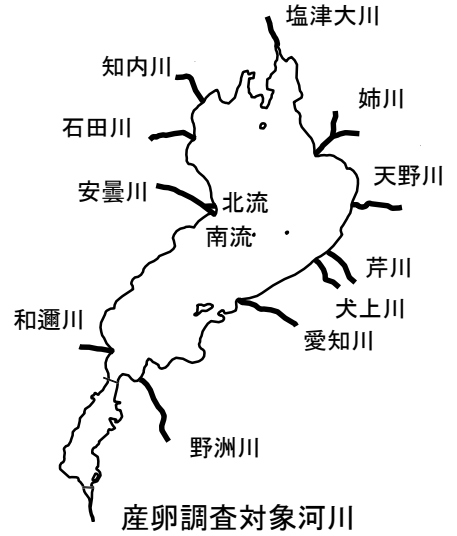


表1. 調査河川ごとの有効産卵数*

(単位:億粒)

河川名	第1次調査 8月29日~8月31日	第2次調査 9月12日~9月15日	第3次調査 9月26日~9月29日	第4次調査 10月11日~10月13日	第5次調査 10月24日~10月26日	第6次調査 11月7日~11月8日	計**
安曇川北流	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	未実施	1.7
安曇川南流	0.0***	0.1	4.1	0.1	0.0***	0.0***	4.4
石田川	0.0***	1.1	10.1	0.2	0.0***	0.0***	11.4
知内川	1.0	12.9	6.4	0.1	0.0***	0.0	20.4
塩津大川	0.0***	0.9	10.1	0.0***	0.0	未実施	11.0
姉川	2.8	1.6	3.6	0.0	0.0***	0.0***	8.1
天野川	0.0	0.0***	0.1	0.1	0.0	未実施	0.1
芹川	0.0	0.0	0.2	0.0***	0.0	未実施	0.2
犬上川	0.0	1.1	0.4	0.0***	0.0***	0.0	1.4
愛知川	0.0	0.1	未実施	未実施	0.0***	0.0	0.1
野洲川	0.0	0.0	未実施	0.0	0.0	未実施	0.0
和邇川	0.0	0.0	0.0***	0.0***	0.0	未実施	0.0
計**	3.8	18.0	36.5	0.5	0.1	0.0	58.9

* 有効産卵数:総産卵数から死卵数を除いた値。***単位未満の産卵がありました。

** 数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがあります。

表2. 有効産卵数の年別比較

(単位:億粒)

年	第1次調査	第2次調査	第3次調査	第4次調査	第5次調査	第6次調査	第7次調査	計**
H24	0.0	0.8	1.2	4.8	0.2	0.0		7.0
H25	10.3	32.2	2.5	0.0	0.0			45.1
H26	0.6	36.6	9.2	24.0	0.2			70.6
H27	0.0	79.3	15.4	2.1	0.2	0.0		97.1
H28	0.0	6.4	170.7	36.7	0.0	0.0		213.8
H29	0.0	0.1	2.4	0.2	-	0.0		2.7
H30	0.1	8.4	3.8	0.2	0.1	0.2	0.0	12.8
R1	0.0	13.1	25.7	11.7	3.1	0.0		53.6
R2	0.0	12.4	28.9	4.7	1.7	0.0		47.8
R3	2.7	136.2	12.4	1.8	2.5	0.6		156.2
平年値*	2.3	51.6	15.7	7.4	1.3	0.2		78.4
R4	3.8	18.0	36.5	0.5	0.1	0.0		58.9

* 平年値:過去10年のうち、合計産卵数が最大となったH28年、親魚の成長不良により最小となったH29年、肥満度低下により産卵が激減したH24年および過小評価と判断されたH30年の値を除く平均値。

** 数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計と内容の計が一致しないことがあります。